# 新しい沖縄づくり10年計画

第59回沖縄県振興審議会

平成二十四年三月末に沖縄振興計画が終了します。沖縄の振興発展をどう図っていくのか、新たな計画づくりが佳境を迎えています。

## 沖縄振興計画の成果と課題

本土復帰時の沖縄県の経済社会の状況は、生活基盤、産業基盤、経済力など多くの分野において本土との著しい格差が存在していました。

このような状況を踏まえ、3次にわたる沖縄振興開発計画や現行の沖縄振興計画に基づく諸施策が展開され、現在では、交通基盤、医療・福祉、教育施設などの社会資本整備が進み、県民の利便性は向上し、本土との格差も次第に縮小したほか、経済・産業分野では、観光産業の伸びや情報通信関連産業の集積などで一定の成果が現れています。

しかしながら、高い輸送コストなど島しょ経済が抱える条件不利性を克服する手立ては十分とは言えず、県民所得や失業率に示されるように、自立的発展に向けた取り組みは道半ばです。

さらに、医療・福祉・教育の充実、離島の振興、米軍基地の返還促進や跡地利用など、解決すべき多くの課題を抱えている状況にあります。

一方、グローバル経済の進展、アジア諸国の経済発展など、これまでの時代の枠組みが大きく変動する中、全国が人口減少に向かう中での人口の増加、成長著しい東アジアの中心に位置するという地理的特性、東西約一、〇〇〇キロメートル、南北約四〇〇キロメートルに及ぶ広大な海域、美しい自然や個性豊かな独特の文化など、本県の更なる発展を実現する上での優位性が顕在化しつつあります。

今後は、本県の発展可能性を最大限に生かし、自立型経済の構築に向けた環境整備などを一層進めていくことが求められます。

県民説明会（宮古）



## 新たな計画の姿

沖縄県では、多くの県民の皆様からさまざまな意見をいただきながら、平成二十四年度から始まる新たな計画の策定を進めています。

この計画は「沖縄二十一世紀ビジョン」で掲げた将来像の実現や固有課題の克服を目指すものと位置づけ、その内容を沖縄県が決定していくこととしました。これまでの沖縄振興（開発）計画の内容が国によって最終決定されてきたことに比べ、考え方を大きく変えるものです。

このような中、沖縄県では平成二十三年七月に「新たな計画」の策定準備として、その基本的な方向性を示すため「新たな計画の基本的考え方」をとりまとめました。

特徴としましては、沖縄はもとより日本全体がアジアの活力を取り込む足がかりとなることなどを目指す「強くしなやかな経済の構築」と、沖縄の良さを取り戻すことなどを内容とする「沖縄らしい優しい社会の構築」を施策展開の基軸とし、〝時代を切り開き、世界と交流し、ともに支え合う平和で豊かな「美ら島」おきなわ〟の実現を図ることを明示した点にあります。

首長意見交換会（北部）

## 県民の参画と共同

新たな計画の策定にあたっては、沖縄県振興審議会における調査審議を経るとともに、市町村長との意見交換会、県民説明会、県民フォーラム、各種団体との意見交換会、大型商業施設におけるパネル展及び県ホームページ上での意見募集など、さまざまな機会を設けて各界各層から意見をいただく取り組みを進めてきました。

新たな計画を策定し推進していくにあたっては、県民の皆様の参画と協働が必要です。本県が自らの責任と創意工夫によって進むべき道を定め、その歩みを進めようとする現在、多くの県民の皆様に関心をもっていただき、新たな計画づくりに参加していただけるよう努め、取り組みをさらに強めてまいります。

経済団体等との意見交換

お問い合わせ　県企画調整課 TEL:098-866-2026 FAX:098-866-2351